

## 荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物\*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

\*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物



### 荒川の草花の植え戻しと保全活動 川島町立出丸小学校

11月29日(水)、5年生のみなさんが、外来植物を抜いた所に、荒川の草花であるキンミズヒキを植え付けました。また、ノアザミ、カリガネソウなどの草花のたねまきも行いました。児童のみなさんのおかげで、たくさんの荒川の草花が三ツ又沼ビオトープに戻されました。



### ハンノキの植え戻しと調査 上尾市立太平中学校 科学部

12月26日(火)、科学部のみなさんが、学校で育てたハンノキを5本植え戻しました。加えて、これまで科学部の先輩たちが植え戻したハンノキに産みつけられた、ミドリシジミの卵数を調査しました。科学部のみなさんは、小さな卵をハンノキの隅々まで夢中になり探していました。



### 荒川の草花のたねのお返し 上尾市立平方北小学校

1月30日(火)、平方北小学校で荒川の草花のたねの返納式がありました。環境飼育委員の小野原由尊さん、中村陽太さんより荒川上流河川事務所副所長に、学校で収穫した8種類のたねが手渡されました。平方北小学校には来年度も引き続き、荒川の草花を育てていただきます。



### 雪景色を楽しむ 県立いずみ高等学校 生物サイエンス科

1月24日(水)、2年生のみなさんが竹林整備活動と自然観察を行いました。22日の降雪の影響で、当日のビオトープ内にはまだ積雪があり、生徒のみなさんは動物の足痕を観察しながら、雪原を散策しました。また、散策後の竹伐りでは寒空の下、熱心に取り組んでいました。



### 保全管理について議論 高校生環境学習講座

11月18日(土)、埼玉県立総合教育センター江南支所主催の高校生環境学習講座で、県内の高校生たちが、三ツ又沼ビオトープの保全管理に様々な世代の人の参画を促す方法について、活発な議論を行いました。議論の中で、「食や工作など様々な人の興味に応じて内容を工夫したイベントを開催しよう」「三ツ又沼ビオトープの良さを漫画で紹介しよう」などの提案がありました。



### 実地でヨシ原の管理を学ぶ

## 日本ビオトープ管理士会

12月16日(土)、建設系CPDプログラム(土木学会継続教育プログラム)に登録された日本ビオトープ管理士会の実地研修で、ビオトープ管理士のみなさんがヨシ原の管理活動を行いました。内容は、ヨシ原



で火入れを行う準備の一環で、防火帯づくりのためのヨシ刈り、ヨシ掻きでした。また、活動後には保全管理のあり方について意見交換を行い、管理士の方からは「他の環境団体との横の



つながりを広げる」「アートなどの分野と絡めたプログラムをつくる」などの提案がありました。

### ヨシ原の生きものを取材

## あげお子ども記者クラブ

1月13日(土)、上尾市が主催する「あげお子ども記者クラブ」の3回目の取材が行われました。今回は、ヨシ原でカヤネズミの巣、ツチイナゴなどの昆虫、野鳥を観察しました。また、防火帯づくりも体験しました。



### 自然再生について考える

## 大正大学 人間学部 人間環境学科 環境政策コース

1月15日(月)、大正大学の環境政策コースの学生約30名が、野外実習の一環として、竹林整備活動と自然観察を行いました。活動後には授業のテーマである、自然再生の可能性について議論を行いました。大学生の視点から「若い人は自然以外にも興味があり、担い手確保には工夫が必要」という意見がありました。



### 【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

### 【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!